

# 病害虫発生予察情報

## 2月月報

令和6年3月18日  
東京都病害虫防除所

### 1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2024年 2月	気温（℃）						降水量 （mm）		日照時間 （h）	
	最高		最低		平均		平年比		平年比	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	（%）	本年	（%）
上旬	9.3	-0.9	0.7	1.2	4.9	0.2	36.0	290	50.8	79
中旬	16.7	6.0	4.4	4.3	10.7	5.4	4.0	17	62.1	101
下旬	9.7	-2.0	3.0	1.5	6.0	-0.5	30.0	184	43.7	83
平均	12.0	1.2	2.7	2.4	7.2	1.8				
合計							70.0	134	156.6	88

※ 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

※ 平年差（比）：平年値（1991～2020年の平均値）からの差（比）

上旬：期間の中頃までは気圧の谷や低気圧の影響で雪や雨の日が多くなり雷を伴う日もあったが、その後は冬型の気圧配置や高気圧に覆われて晴れの日が続いた。5～6日にかけて前線を伴った低気圧の影響で東京では雪となり、日最深積雪8cmを観測した。

中旬：期間の中頃までは高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、期間の終わりは前線や湿った空気の影響で雨の日があった。期間を通して暖かい空気に覆われたため、気温のかなり高い日が多くなった。15日には関東地方で「春一番」が吹いた。

下旬：期間の前半は低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多く、みぞれの降る日もあった。期間の後半は冬型の気圧配置や高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、低気圧の接近に伴い雨の降る日もあった。

### 2 作物生育概況

#### （1）野菜類

果菜類：施設トマト・イチゴの生育は早く、順調だった。

葉菜類：露地で雪害の影響が一部あったが、ホウレンソウやコマツナの生育は例年に比べ早く順調だった。

根菜類：ニンジン、コカブの生育は概ね順調だった。

2月どりのブロッコリー、カリフラワー、キャベツの一部で鳥害が発生した。

### 3 病害虫の発生概況

#### （1）野菜の病害虫

トマト（施設）

灰色かび病

< 少 >

発生は少なかった。

葉かび病	< 並 >	発生は平年並だった。
すすかび病	< 並 >	発生は平年並であった。
うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
黄化葉巻病	< 並 >	発生は平年並であった。
コナジラミ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
コマツナ（施設）		
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハウレンソウ（施設、露地トンネル）		
べと病	< 少 >	発生は少なかった。
ケナガコナダニ	< 少 >	発生は少なかった。
ハクサイダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
イチゴ（施設）		
灰色かび病	< やや多 >	発生はやや多かった。
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(2) 花きの病害虫（施設）

花き共通の病害虫

灰色かび病	< やや多 >	発生はやや多かった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

(3) 島しょの病害虫

八丈島：キキョウランでハダニ類の発生がやや多かった。  
その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

4 侵入調査

トマトキバガ < 誘殺なし >

病害虫防除所ホームページ

<https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/nourin/shoku/anzen/boujyo/>

病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法、防除のポイントなどをお知らせしています。